

平成25年度 木更津市社会教育委員会議 第1回定例会 議事録

日 時：平成25年5月10日（金）

午後3時00分～4時30分

会 場：木更津市役所6階会議室

出席者 伊藤 孝、野中洋子、平田和世、榛澤敦子、大岩宏之、宮崎清、宮崎恵子、武田正次、  
李程英、内田慎一郎、石村比呂美、石井徳亮、橋本ミチ子

事務局 初谷教育長、能城教育部長、本多教育部次長、石井生涯学習課長、渡邊中央公民館長、  
小泉図書館長、高橋文化課長、宮澤施設課長、原体育課長、  
郷土博物館金のすず平野副館長、佐々木副主幹、篠田副主幹、露寄主査

1. 開会

事 務 局：それでは、会議に先立ちまして、木更津市社会教育委員の委嘱状交付式を開催します。

委嘱状交付式

事 務 局：それでは初谷教育長よりご挨拶を申し上げます。

初谷教育長：ただいま、おひとりおひとりに委嘱状をお渡しして2年間社会教育委員としてお願いをいたしました。3名ほど新しい方もお迎えしましたが、それぞれみなさん、お忙しいお仕事をお持ちの方ばかりで、他の方面でもいろいろお世話になっておりますが、本市の社会教育委員をお引き受けいただきまして本当にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

昨年は、市制施行70周年ということで木更津市も大きな節目で、かなり充実した1年を過ごしたわけですが、この社会教育委員会議にも、教育委員会から、新しい時代の公民館の整備計画について諮問をいたしまして、3月に答申をいただきました。大変ご苦労をおかけし、あらためて心からお礼を申し上げます。この社会教育委員会議は、木更津市の社会教育に関して、皆様からの知見を反映させて、教育委員会に助言をいただく、あるいは社会教育計画等についてご意見をいただく、そういう重要な会議ですのでよろしく願いします。

今日は、第1回の会議の中で今年度の計画等々について担当の方から説明をさせていただきますが、様々なご指摘をいただければと考えております。

そして、本日の第1回の定例会の主要な議題が、役員決定及びその他委員の選出というプログラムになっておりますので、今年もよろしくお願いを申し上げまして挨拶に代えたいと思います。

事務局：ありがとうございました。以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。それではあらためまして、平成25年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会議を開催したいと思っております。次第に沿って開催したいと思っておりますが、最初に4月から新しく教育部長になりました能城部長から挨拶を申し上げます。

能城教育部長：皆さんこんにちは。4月より教育部長を務めさせていただいております能城と申します。よろしくお願いいたします。このあと事務局職員の自己紹介がございますが、生涯学習課の職員に関しましては、お気づきのとおり課長、総括をはじめ大幅な入れ替えがございました。そういった中での事業の推進につきましては、きちっとした継続性を保ちつつ、人事異動のひとつの目的でもあります、新しい視点であるとか、新しい風、そういったものも取り入れながら推進にあたって参りたいと考えております。本日の会議内容といたしまして、平成25年度の社会教育、生涯学習の重点目標ですとか主要事業、そういったものもございますが、詳細の説明につきましては、後ほど各課長の方からご説明をさせていただきます。

私のほうから基本的な方針等について少し触れさせていただきたいと思っております。本市におきましては、皆様ご承知のとおり、平成23年度から市政運営の基本としております木更津市第4次3ヵ年プランがございます。その重点施策ひとつでございます「こころ豊かな人づくり」の中で「学びあい キラリ輝く 教育都市木更津の実現を目指す」という基本理念がございますので、本年度も引き続き実現に向けて努めてまいりたいと考えております。そして生涯学習、社会教育につきましては、社会教育の推進、市民文化の充実、スポーツ・レクリエーションの振興、青少年の健全育成等の基本施策のもと積極的な事業展開を図りますとともに、先ほどの教育長の挨拶の中にもありましたとおり皆様からいただきました答申をふまえ、いつでも、どこでも、だれでも自由に学べる学習環境の整備に努めてまいりたいと考えております。そのための基となります木更津市教育振興基本計画を策定してまいりたいと考えておりますので、この後の会議の中で委員の皆様におかれましてはそれぞれの立場からご意見を賜りますようお願いを申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

事務局：それでは、職員の自己紹介をさせていただきます。

(職員自己紹介)

続きまして、社会教育委員の皆様の自己紹介をお願いします。

(社会教育委員自己紹介)

本日の会議について報告させていただきます。本会議は、木更津市審議会等の会議の公

開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。また、本日の会議は、委員定数18名ですが、公民館運営審議会の委員がまだ選出されておられませんので、委員17名中13名の出席であり、欠席は4名であります。従いまして、社会教育委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上報告いたします。

それでは、会議に入ってまいりたいと存じますが、今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたしますが、新議長が決まっておりませんので、仮議長を選出し、議事を進行したいと存じます。仮議長ですが事務局で推薦してもよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、榛澤委員お願いしたいと思います。異議がなければ拍手をお願いします。

(拍手)

榛澤仮議長：ただいま仮議長を仰せつかりました榛澤です。しばらくの、仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは議事に入らせていただきます。議案第1号「議長及び副議長の選出」についてということで、事務局の説明をお願いします。

(事務局説明)

ありがとうございます。事務局の説明がありましたが、議長及び副議長の選出についていかが取り計らいましょうか。運営規則によりますと、『委員の互選により選出』となっておりますがいかがいたしますか。

(事務局に何かありますかとの声)

事務局に何か案がありましたらよろしく申し上げます。

事務局：例年、選考委員による議長、副議長の選出がされておりますので、同様な方法でよろしいのではないかと考えます。

榛澤仮議長：事務局から選考委員による選出方法という案が出されましたが、ご賛同いただけますでしょうか。

(異議なしの声)

榛澤仮議長：ありがとうございます。それでは選考委員の選出はいかがいたしましょうか。ご意見があればお伺いいたします。

ないようですので、事務局のお考えをお願いしたいと存じますが、何か案がありますか。

事務局：それでは、選考委員の候補ですが、ご経験のある宮崎恵子委員、内田慎一郎委員、伊藤孝委員にお願いをと考えております。

榛澤仮議長：それでは、今事務局よりお名前のあがった方々をお願いしたいということですが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

榛澤仮議長：選考委員の方々には別室で選考をお願いします。

(休憩)

榛澤仮議長：選考が終了したようですので、選考委員長より選考結果の報告をお願いします。

宮崎選考委員：厳正な審議の結果、議長には、蘇我芳章さん、副議長に、石井徳亮さん、野中洋子さんをお願いしたいと思います。

榛澤仮議長：ありがとうございました。ただいま、選考委員長より、新議長・新副議長の選考報告がありました。議長に蘇我委員、副議長に石井委員、野中委員を選出することをお諮りいたします。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

榛澤仮議長：ありがとうございます。議長に蘇我委員、副議長に石井委員、野中委員が選出されました。御三方よろしくおねがい申し上げます。それでは、仮議長としての役割を終わらせていただきます。会議の進行などご協力いただきありがとうございました。

事務局：それでは、新しく議長、副議長になられた皆様よりご挨拶をいただきたいと存じます。なお、本日、議長の蘇我さんが欠席ですので石井さん、野中さんお願いいたします。

(挨拶)

事務局：それでは、早速ですが、運営規則第2条第5項の規定により石井副議長に今後の進行をお願いいたします。

石井副議長：議案第2号各委員の選出について、事務局より説明をお願いします。

事務局：議案第2号各委員の選出についてですが、

千葉県社会教育委員連絡協議会代議員 1名

君津地方社会教育委員連絡協議会理事 4名

うち1名が総会で副会長に選出されます。また監事候補についてもこの場で選出させていただきます。

木更津市生涯学習推進協議会委員

木更津市生涯学習フェスティバル実行委員

木更津市青少年問題協議会委員

木更津市男女共同参画推進委員

木更津市図書館協議会委員

についても選出をお願いします。

石井副議長：ただいま、事務局より説明がありましたが、各委員の選考についてどのようにいたしますでしょうか。ご意見がある方は、お願いいたします。

(事務局一任での声)

石井副議長：はい。事務局一任でという声がありましたが事務局案はありますか。

事務局：千葉県社会教育委員連絡協議会代議員については、各市の議長がなりますので蘇我委員を推薦します。

君津地方社会教育委員連絡協議会理事については、蘇我議長、石井副議長、野中副議長、地曳委員を推薦します。その中で総会において選出される副会長の候補といたしましては、蘇我議長をご推薦いたします。監事候補については内田委員を推薦します。

木更津市生涯学習推進協議会委員については、宮崎(清)委員に引き続きお願いしたいと思います。

木更津市生涯学習フェスティバル実行委員については、例年PTA選出の方が委員になられておりますので、鈴木委員を推薦いたします。

木更津市青少年問題協議会委員については、李委員に継続をお願いします。

木更津市男女共同参画推進委員につきましても、宮崎(恵)委員に継続をお願いします。

す。

木更津市図書館協議会委員については、石村委員にお願いしたいと思います。

石井副議長：事務局より、提案がありました。それぞれの委員について皆様にお諮りいたしますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

石井副議長：ありがとうございました。それでは、新たに委員をお願いする皆さん、よろしくお願いたします。続きまして、報告事項に入ります。平成25年度生涯学習重点目標・重点施策及び主要事業についてですが、各担当課から概要説明をお願いします。

生涯学習課長： 社会教育の推進

社会教育・生涯学習の役割は、市民がいつでも学習できる環境を整えることが基本であることから、体制の充実や社会教育施設の整備を図り豊かな地域社会を実現する。  
青少年の健全育成

家庭・地域社会・学校などが青少年の地域活動を促進する事業展開を推進し、地域の教育の育成、環境の整備を図り、青少年が1人の人間として自立し、心豊かな人間性と主体的な判断力をもち、心身ともに健やかに成長できるよう図っていく。

人権尊重社会

基本的な人権を尊重するため、様々な差別意識を解消し、相互に人権を尊重する社会の実現をめざす。そのため、学校教育・社会教育における人権教育の充実を推進する。

図書館長： 図書館サービスの充実

魅力ある「市民の図書館」づくりの推進として、利便性の向上、子どもの読書活動を推進、貸出利用者の増加に向けた主催事業の積極的な展開を図る。

木更津図書館の蔵書は約33万冊、年間貸出冊数は約40万冊、貸出利用者は延べ約12万人である。

中央公民館長： 公民館活動の充実

『こころ豊かなひとづくり』をめざし、市民力を高め、地域の自治活動を促進していく事業の実施に努め、子どもから高齢者まで、誰もが共に学びあい、支えあうまちづくりを推進する。

16公民館で実施される事業数は施設の貸出、各種団体等の支援など共催事業を含め延べ320事業。うち青少年に関するもの77事業が予定。

施設課長： 生涯学習・社会教育施設の整備

公民館、図書館等の社会教育施設の維持補修・改修工事については、各施設の耐震診断をなるべく早い時期に実施したい

スポーツ・レクリエーション施設の整備

・江川総合運動場の駐車場工事を実施し約100台の駐車場を整備予定。

文化課長： 芸術・文化活動の推進

邦楽鑑賞教室は、琴と尺八の演奏会を10月西清小、11月畑沢中そして3月岩根西中で開催する。

学校音楽鑑賞教室は、ニューフィルオーケストラ千葉の演奏を11月波岡中で開催する。

国の重要無形文化財である沖縄の歌舞劇「組踊」の特別鑑賞会は、10月市民会館で開催する。入場料は無料。

木更津市郷土博物館金のすず

副館長： ふるさと文化の継承

国立歴史民族博物館及び国内第一級の研究者が参加した金鈴塚古墳出土品の国宝的価値を検証する共同研究の推進と情報発信をする。

木更津港発展の契機となった1614年の大阪冬の陣400年の前年にあたることから、港町木更津をテーマとした特別展を開催する

博物館の防犯用モニター設備を改修し、重要文化財を含む博物館資料の適正な管理を図る。

体育課： スポーツ・レクリエーションの振興

市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康の増進を図り、市民相互の交流を促進する生涯スポーツ活動が実践できるようスポーツ・レクリエーション活動の充実と市民が利用するスポーツ・体育施設の整備を図る。

江川総合運動場拡張事業早期整備について防衛省と協議中であるが、早期実現に向けて取り組んでいきたい。

石井副議長： 関係各課から説明がありましたが、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

宮崎委員： 木更津市史編修事業について質問ですが、「木更津の歩み」に昭和47年、木更津市史を編纂したものが作られたと記載されております。市史を作成してもう何十年も立ち、木更津の街の中が変わってきていると思うのですが、改めて木更津市史を編纂しないのですか。

文化課長： 新しいものを作りたいという思いはあります。そのための資料収集をこれからしたい。それでそれらの方向付けを考えるための市史編集委員会を組織する予定であります。

内田委員：江川総合運動場についてですが、防衛省との協議ということですが、以前、大規模なサッカー場などを防衛省関係の費用で作るといった話があったと思いますが、その続きですか、それともちょっとした改修ですか。

体育課長：江川総合運動場の底地は、防衛省からお借りしております。修繕する財産も防衛省が持っている。そういう関係から底地を拡張してお借りしてサッカー場であるとか野球場であるとか、そういったものを設置していく。そして防衛省が考えているのは、まず防衛省側で出来る範囲で基盤整備をしましょう、と。いま、協議しているのは、拡張にあたっての基盤整備をしていただく。その後の具体的な、スポーツ競技場施設についてはその後の新たな協議ということで動いております。

石井副議長：図書館が公民館の方に希望の本を届けているということですがそういった案件は多いのですか。

図書館長：予算に限りがありますので、今話題の本をすぐに購入することはできませんが、今ある本は持って行って借りていただいております。

石井副議長：江川総合運動場ですが、侵入の道路が狭いのですがいかがでしょうか。

体育課長：おっしゃるとおり進入路が非常に狭くご迷惑をおかけしております。近くを通る中野畑沢線を工事している状況ですので、それを踏まえて将来的には接続路が作られるのではと思いますが、研究していきたいと思います。

宮崎委員：放課後子ども教室、放課後児童クラブ、学童保育もあったと思いますがの違いはなんですか。

生涯学習課長：文部科学省が行っています「放課後子ども教室推進事業（放課後子ども教室）」と厚生労働省が行っています「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施している事業です。生涯学習課が担当しておりますのは、放課後子ども教室推進事業で、木更津市では現在、8地区でその事業を行っております。週1回子どもの安全な遊び場、交流する場ということで地域の大人が入ってきながら交流していくというような事業です。橋本委員は波岡小学校で「ハックルベリー」という放課後子ども教室推進事業を実施していただいております。

橋本委員：放課後児童クラブは一般的に学童保育と呼ばれているもので、働いている母親が、家にいない夕方の時間子どもをお預かりするものです。ということは、お金を払ってちゃんと顔と名前がわかってお預かりしますよ、というのが放課後児童クラブですね。それと違っ

て、放課後子ども教室というのは、子ども同士の異学年生の交流を目的にした事業で、必ずしもきちっと名前と顔がわかっている、きちっと何時から何時までお預かりしなさいねというのがメインで話が進んでいるものではなく、交流するチャンスをつくりなさいということ。実際には、似たようなことをやっているのですが、学童の場合は毎日のことです。そして放課後子ども教室は、可能な限りでよいので縛りはありません。1週間に1回というのが全国的に多いかと思います。毎日、週5回やっているところもあります。自治体によっては特別に枠をつくって別な形でやっている学童保育と放課後子ども教室を合体したような事業をやっているところもあります。参加は、登録もしますが自由です。預かるか、預からないかということも違いますね。親が仕事をされていて子どもの面倒をみられないので、きちっと毎日預かってください、というのが学童保育(放課後児童クラブ)です。

石井副議長：他にご意見等よろしいでしょうか。それでは質疑を終了させていただきます。

それでは、続いてその他の報告事項ですが事務局より説明をお願いします。

生涯学習課長：金田公民館の用地の取得の進捗状況を報告いたします。金田公民館の用地の取得については、25年3月の市議会において用地取得に係る補正予算が可決されております。予算額は2億4,760万円でございます。この予算が平成25年度に繰り越されておりますので、今年度用地の取得を行うということとなります。現在、用地の取得について、相手方である都市再生機構と協議を進めております。5月の教育委員会会議と6月の市議会に財産の取得について議案を上程し可決後契約に繋げていくようになっております。位置としましては木更津アウトレットの西側です。面積は5,382.29㎡です。

続いて、君津地方社会教育委員連絡協議会総会の開催についてですが、総会が5月26日(日)に行われます。各市との情報交換もできますので是非積極的にご参加ください。また、大きな事業として君津地方社会教育推進大会がございますが7月13日(土)午後から新日鐵住金君津製鐵所の中の施設です。四市の功労者の表彰や記念講演、大会決議等を行いますので、是非、社会教育委員の皆様にも出席をお願いします。以上2点よろしくをお願いします。

石井副議長：全体を通じまして、ご意見・ご質問がありませんでしょうか。ないようでしたら、予定された時間にもなりましたので、本日の会議を閉じさせていただきます。